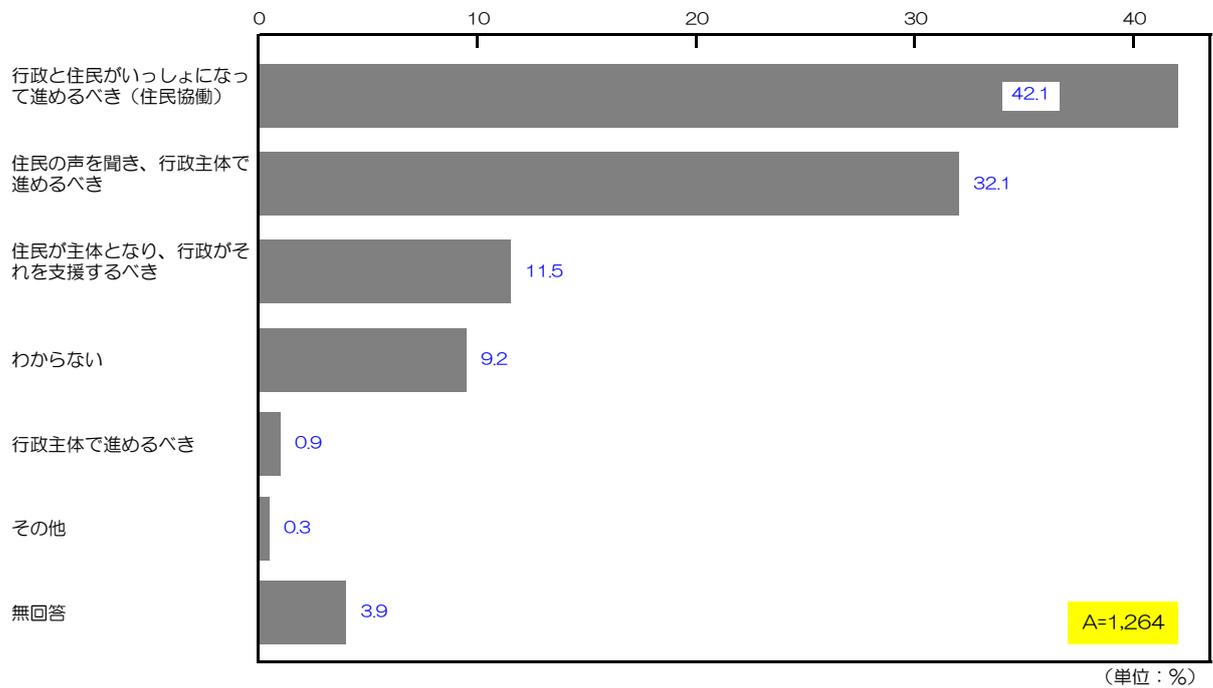


第15章 まちづくりについて

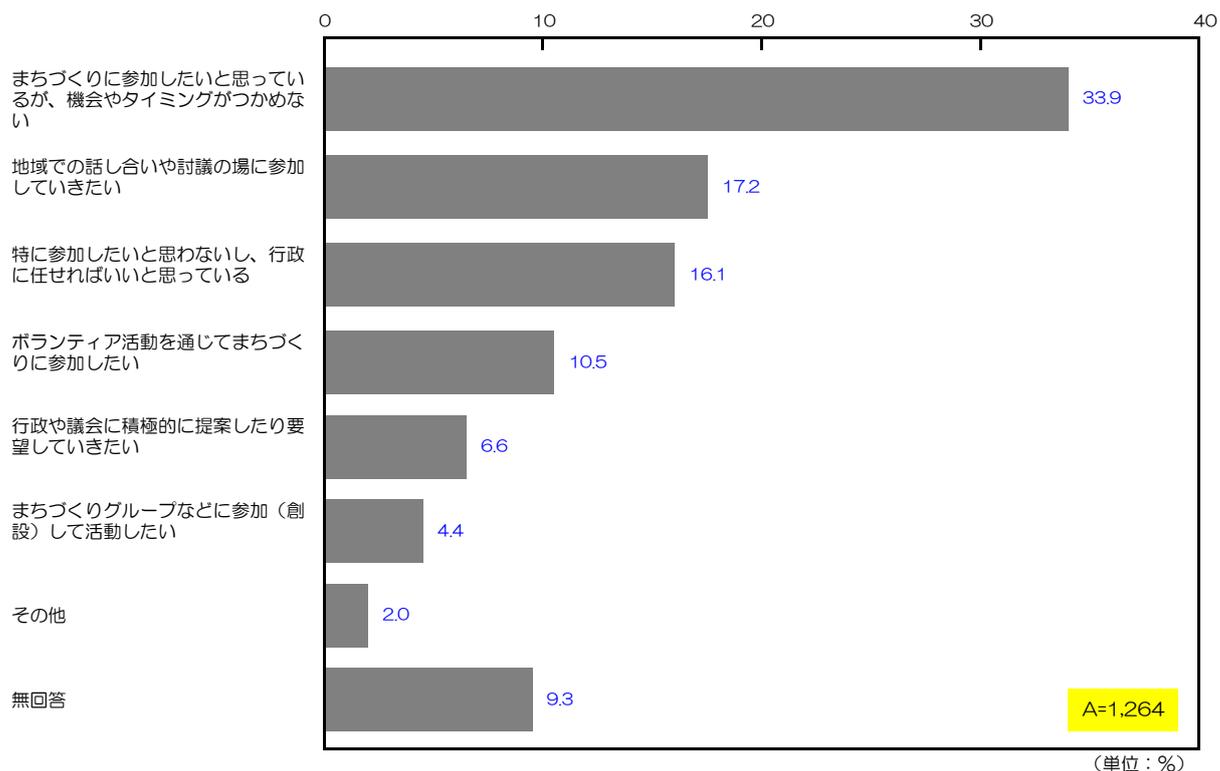
問22 あなたは、今後のまちづくりを進めていく上での住民と行政の役割分担について、どのように思われますか。



住民と行政の役割では、「行政と住民がいっしょになって進めるべき（住民協働）」（42.1％）が第1位で、次いで「住民の声を聞き、行政主体で進めるべき」（32.1％）、「住民が主体となり、行政がそれを支援するべき」（11.5％）、「わからない」（9.2％）、「行政主体で進めるべき」（0.9％）の順であり、全体の4分の3の方が住民参加型のまちづくりを望んでいると思われる。

区分別の集計では、70歳以上、農林業、宇津・秋里・豊野・住吉・富丘地区の区分で「住民の声を聞き、行政主体で進めるべき」と答えた方の比率（4割強）が高くなっている。

問23 あなたは、どのような形でまちづくりに参加したいと思いますか。



まちづくりへの参加意向では、「機会やタイミングがつかめない」と答えた方が33.9%で圧倒的に多く、どのような形でまちづくりに参加していいかわからない方が多いと考えられる。また「地域での話し合いや討議の場に参加していきたい」（17.2%）が第2位であるが、反面「特に参加したいと思わないし、行政に任せればいいと思っている」（16.1%）が第3位であり、行政主導のまちづくりへの意見も比較的多いと思われる。

区分別の集計では、70歳以上・無職・宇津・秋里・豊野・住吉・富丘地区で「特に参加したいと思わないし、行政に任せればいいと思っている」が第1位であるが、その他の区分では「機会やタイミングがつかめない」が第1位となっている。